

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	793 柘植歴史民俗資料館維持管理経費	会計	01	一般会計
基本 施策	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	02	文化財保護費
行革大綱の重点事項番号		細目	435	文化施設維持管理事業
担当部課		細々目	02	柘植歴史民俗資料館維持管理経費
コード		担当者	福田典明	
450400		氏名	連絡先	
名称		教育委員会 生涯学習課		22 - 9681 (内線) 3840

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	・伊賀市特に旧伊賀町に関連する民俗資料及び歴史資料 ・市民や観光客	※対象件数
成果(どうする)	・適正に収蔵され、展示される。 ・伊賀市の歴史・文化を理解してもらう。	
根拠法令・要綱等	文化財保護法・柘植歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	・常設展示とともに、ランプの会の企画・協力を得て、企画展示を行った。	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	2.0 人
3 年間運営費	7,364 千円
4 市内の 類似施設	上野歴史民俗資料館、大山田郷土資料館、阿山ふるさと資料館、島ヶ原資料館

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
企画展示		日	目標	6	目標	6
			実績	6	実績	7
開館日数		回	目標	309	目標	308
			実績	309	実績	308

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
入館者数		地域の特色を生かした企画展を行い、市民や観光客に足を運んでもらうか。	人	目標	2800	目標	2800
				実績	2188	実績	2619
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	2,247	2,247	2,247	2,226	2,226	2,226	2,226	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	2,247	2,247	2,226	2,226	2,226	2,226		
事業投入人件費(B)	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	
フルコスト(A)+(B)	2,967	2,967	2,946	2,946	2,946	2,946		

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律で実施が義務付けられている事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○	広く生涯学習の場として、展示施設が利用される状況にある。
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○	
国や県、民間が同様のサービスを提供している。	○	
事業開始からの目標・目的を概ね達成している。	○	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響は大きい。		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
		必要最小限の経費で、企画展を行っている。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	芭蕉と横光利一、橋本策についての企画展示はこの地域でしかないもので、独自性があり、遠方からの観光客や研究者の訪問が多い。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 年度を通して展示の入れ替えを実施することができ、多くの来館者を得ることができた。

今後の方向性(Action)

評価者氏名 (担当課長)	榎田 ちえみ
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 年間を通して企画展示を行い、来館者の増加に努める。
現時点における 課題、その他	平成21年度までは、地域の展示支援団体の協力を得て企画展示を行っていたが、平成22年度からは毎月の企画展示が難しい。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	文化財系の企画展示と地域の展示支援団体により、企画展示を行うこととする。